

2019年度 なは市民協働大学院



第3回講座

人が集まりたくなる企画づくりのコツ ～ロジックモデルと事業評価

【なは市民協働大学院 第3回 講座】

日時：2019年8月8日（木）18時30分～21時

会場：なは市民協働プラザ2階会議室①

参加：受講生28名、サポメン7名
那覇人Cheers、オブザーバー 2名



第3回講座は、企画づくりまでの全体的な流れを確認する回でした。前半で「人が集まりたくなる企画づくりのコツ」と題し、ロジックモデルの考え方や事業評価の重要性などを、若狭公民館の事例を交えながら紹介しました。後半では、前回出された宿題の「調査シート」の進捗状況を確認し、調査でつまづいていること、その解決方法について受講生同士で助け合いながら情報共有しました。

高いモチベーションに感動

この日は台風の影響を受け、強い風と雨が降りしきっていました。悪天候で、ヘビーな渋滞も発生していたため、開始時間を15分遅らせました。3名の欠席者はありませんでしたが、みなさん無事に会場にいらしてくれました！受講者のみなさんのモチベーションの高さを感じ、事務局一同感動です。

企画づくりのコツ

さっそく、今回のメインである「人が集まりたくなる企画づくりのコツ」

について、事務局宮城からのプレゼンです。



若狭公民館の実例や失敗例も踏まえた説明で、「なるほど」と納得の表情。

重要なのは、地域課題を先入観なく冷静に分析すること、そして、その

解決策を魅力ある活動と掛け合わせてみることです。

ロジックモデル、事業評価、とちょっと難しい言葉がでてくる中、みなさん真剣な表情…。

つまりは、じっくり地域の実情を見極めて、しっかり企画を立てて、成果を出しつつ、ちゃっかりみんなで楽しむこと。そのために、きちんと調査や分析を行なって骨組みをつくったり、意図した結果が出せているのか確かめることが必要なのです。

第3回講座 人が集まりたくなる企画づくりのコツ～ロジックモデルと事業評価

グループワーク（宿題check）

さて、しっかりレクチャーを聞いたあとは、みなさんの宿題チェック...ではなく「調査シート」の進捗確認。

まずはグループ内で、メンバー同士進み具合などを確認しました。

みんなで穴埋めやすりあわせをするグループもあれば、調査範囲や学区の再確認をするグループ、大きな地図を取り出してきたグループもありました!!



この後、調査を進める中でぶつかった壁や、「この情報はどこで調べられるの?」「同じ人口でも、国勢調査と住民基本台帳で数字が違うが、どちらを使うべき?」などといった疑問を聞き取り、情報共有しました。



そのうちのいくつかは、調査を進めているほかのグループからアドバイスをいただくことができました◎

みなさんお互いに学びあうことがたくさんありますね!



第4回の内容説明

疑問が解決したあとは、これからの調査と課題設定までについての説明。

そして、第4回講座における発表の概要と内容について説明しました。

受講生のみなさんには、第4回までに各地域で注目する学校区を1つに絞ってもらい、これからはできるだけ「人に聞いてみる」「自分の足で歩いてみる」調査にフォーカスしてもらいます。

発表は7分、形式は自由です。その中に、校区を選んだ理由、どんな調査を行ったか、どんな分析を行ったか。結果、どのような課題を見つけたか?を必須内容として発表していただきます。



学校区選定について

校区を絞ることにに関して、グループ内で議論する時間を設けました。



すんなり決まるグループ、議論が止まらないグループ、と色々ありましたが、ひとまず第4回までには学校区を決めて、課題の特定まですることになりました。

次回、地域の課題の内容によっては、自分の興味関心に応じてグループの再編成もあります。



さて、調査の結果どのような課題が飛び出すか、そして企画に向けたグループがどのように結成されるのか、どきどきわくわくです!

第1回相談会実施!

8月22日、調査や課題設定に関する相談会を行いました。統計に関する質問や史跡・文化財の調査方法、第4回の発表方法についての質問がありました。回答はブログに掲載していますので、ご確認ください。

